

ヴォーカリスト&ギタリスト(スターダスト☆レビュー)

Special interview

根本

KANAME NEMOTO

要



新しいものに挑戦し続けるロック魂が

ジャンルを超えてあなたをキャッチする

Concert information

協賛 **Kowa** 興和江守株式会社 福井新聞社

5.9(土) 18:00開演/大ホール

スターダスト☆レビュー ア・カペラ&アコースティックライブ ゲスト:東京フィルハーモニー弦楽四重奏団

全席指定 ¥6,000 ヘア券 ¥10,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)

出演/スターダスト☆レビュー(ヴォーカル、ギター:根本 要、ベース、コーラス:柿沼清史、
ドラム、コーラス:寺田正美、パーカッション、コーラス:林"VOH"紀勝)東京フィルハーモニー弦楽四重奏団(ヴァイオリン:近藤 薫、戸上眞里、ヴィオラ:加藤大輔、チェロ:渡邊辰紀)
演奏予定曲/木蘭の涙、夢伝説、今夜だけきっと、トワイライト・アヴェニュー、追憶 ほか

<共催:福井テレビ>

スターダスト☆レビュー、通称「スタ☆レビ」のアコースティックライブがコンサートホールならではの特別企画として実現!スタ☆レビとコラボするのは、2021年のニューイヤーコンサートに登場する東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者たちによる弦楽四重奏団。スタ☆レビの十八番であるア・カペラ・コーラスや、弦楽四重奏の伴奏によるパフォーマンスなど、ここでしか体験できないスペシャルライブです。



スターダスト☆レビュー

近藤 薫
©深堀瑞穂

戸上眞里



加藤大輔



渡邊辰紀

ねもと・かなめ/デビュー39年を迎えた日本を代表するライブバンド「スターダスト☆レビュー」のヴォーカル&ギター

2018年にアルバム「還暦少年」をリリース。2月にはライブアルバムを、3月25日にはツアーの映像を収めた「スターダスト☆レビュー ライヴツアー『還暦少年』」をリリース。毎年恒例の野外ツアー『楽園音楽祭 2020 スタ☆レビ ロックリンピック』が5月23日(土)香川県さぬき市野外音楽広場テアトロンからスタートする。

公式ホームページ <https://s-d-r.jp/>

根底はアマチュアリズム？ 長寿バンドが愛される理由

「クラシック音楽専門のホールからインタヴューを受けるなんて初めてじゃないかな」

照れくさそうに笑いながら話し始める根本さん。2021年にデビュー40周年を迎えるスターダスト☆レビュー(スタ☆レビ)のリーダーです。根本さんと高校時代の仲間が中心となってできたスタ☆レビは、アコースティックなサウンドやメンバー全員によるコーラスの魅力などで、ロックのみならず幅広いジャンルのファンを獲得してきました。

「スタ☆レビの音はノンジャンルとかよく言われるんですが、それは僕が子どもの頃から聴いてきた音楽の影響だと思っています。ビートルズにしろ、中学の頃にハマったプログレにしろ、ロックの探求者たちはみな、ジャンルの枠を超えて新しいものを創り出そうとする精神がありました。彼らの音楽に溶け込んでいた様々な要素が、僕らの音楽にも入り込んでいます。それに僕らはロックバンドなのにア・カペラでも歌います。その音作りにジャズやクラシック“ぽさ”を感じる方がいるのではないのでしょうか」

絶えず誰かの影響下にある、と言う根本さんですが、今でも好きなアーティストのライブには必ず足を運ぶそうです。例えばボビー・マクファアリンがオーケストラでJ・S・バッハを指揮し

たと聞けばバッハの原曲を聴く、というように食欲に音楽を追求しています。感動したこと、驚いたことの背景にあるものは何だろうという探究心が、根本さんの創作の根元を形作っていることは間違いありません。

スタ☆レビ流ア・カペラと 弦楽四重奏が出会うとき

ところで、スタ☆レビといえば根本さんのハイトーン・ヴォイスが魅力のひとつ。還暦を超えてなお、高音を保つ秘訣はあるのでしょうか。

「僕らは今でも年間50〜60回以上ライブをします。そこでは、“一所懸命”だけではなかなか安定度が保てません。そんな中で“いかに無駄な力を抜くか”が重要だということに気づきました。さらに言うなら感情で起伏をつくり過ぎないこと。いい曲は歌詞とメロディで十分に情感が伝わるものです。だから、力まず素直にメロディをトレースしていけば、お客様に必ず伝わります。そういう歌は喉も疲れませんしね」

そんなスタ☆レビが今回、弦楽四重奏とコラボレーションをします。

「今回は普段、クラシック音楽をお聴きのみなさんにスタ☆レビのアンサンブルをどう届けるか、が僕らのテーマです。オリジナルだけでなくカヴァー曲も歌います。そこにいるお客様に生で僕らの音楽を届ける、それがライブです。CDやレコードとは違う、その日にしかできない音楽をお聴かせしたいです」

普段、クラシックしか聴かないという方にも、このコラボレーションは楽しみです。

「今回、初めて東京フィルハーモニー弦楽四重奏団の方と共演させていただきます。クラシックのアーティストにも、新しいことに挑戦している人たちがたくさんいます。お互いに、いつもとは多少違うパフォーマンスを楽しみたいです。みなさんもいつもと違うジャンルに、少し冒険してみてください。いかがでしょうか。笑顔でお帰りになれる、そんなライブです。楽しんでください」